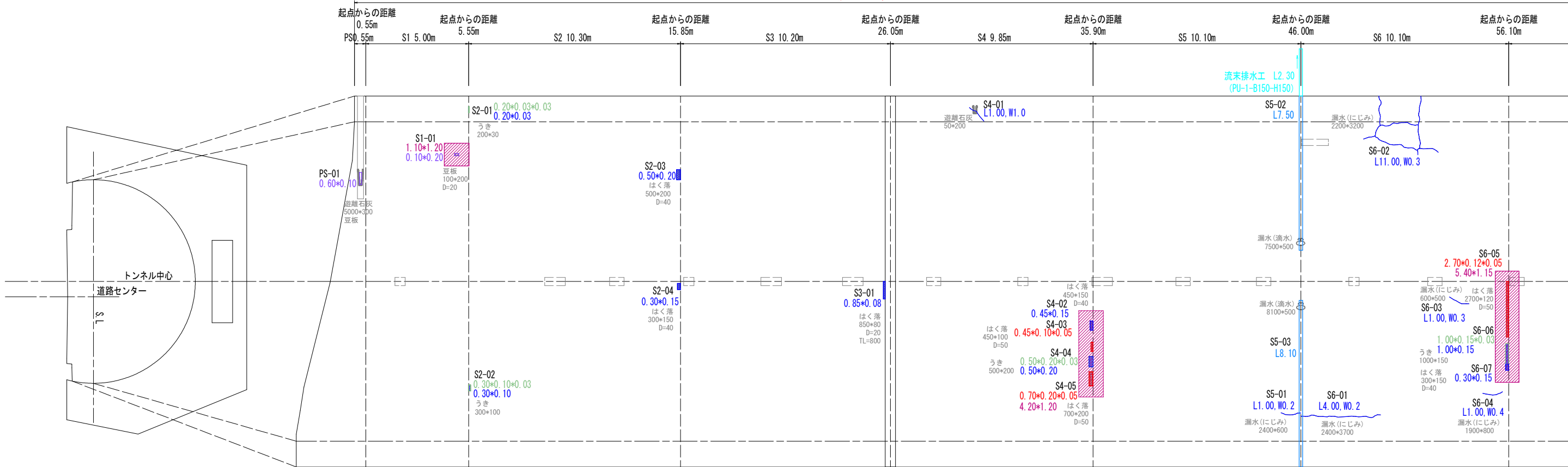


施工延長 L=228.40m



スパン番号		PS	S01	S02	S03	S04	S05	S06
(坑口含む)								
点検調査	ひび割れ密度 (cm/m2)	6.42	0.00	4.17	0.00	13.83	16.28	13.64
	外力による変状	I	I	I	I	I	I	I
	材質劣化による変状	I	II	II	II	II	II	II
	漏水等による変状	II	I	I	I	II	II	II
	覆エスパン毎の診断	II	II	II	II	II	II	II
劣化診断調査	有効巻厚による判定	I	I	I	I	I	II	II
	突発性崩壊による判定	I	I	I	I	I	I	I
	覆エスパン毎の診断	I	I	I	I	I	II	II

スパン番号		PS	S01	S02	S03	S04	S05	S06
(坑口含む)								
はく落対策		はつり落とし工	m3		0.0012		0.0030	0.0045
		劣化防止コーティング (エポキシ樹脂系)	m2		0.181	0.068	0.168	0.195
		断面修復工 (ポリマーセメント)	m3			0.0093		0.0162
		炭素繊維シート接着工 (2方向1層 200g/m2 or 300g/m2)	m2					
		ネット工 (FRPメッシュ)	m2	1.32		5.04		6.21
		ネット工 (ビニロンメッシュ)	m2					
材質劣化対策		表面含浸工 (けい酸ナトリウム系)	m2	0.060	0.020			
漏水対策		導水樋工 (160型)	m				15.60	
		流末排水工 (PU-I-B150-H150)	m				2.30	
		ひび割れ注入工 (超微粒子無機系)	m			1.00	1.00	17.00

※展開図内の寸法は、
面積：横断方向(m) * 縦断方向(m)
体積：横断方向(m) * 縦断方向(m) * 厚み(m)
延長：長さ(m)、(幅(mm))

健全度判定区分		
区 分		状 態
I	健全	道路トンネルの機能に支障が生じていない状態。
II	予防保全段階	道路トンネルの機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III	早期措置段階	道路トンネルの機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV	緊急措置段階	道路トンネルの機能に支障が生じている。又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

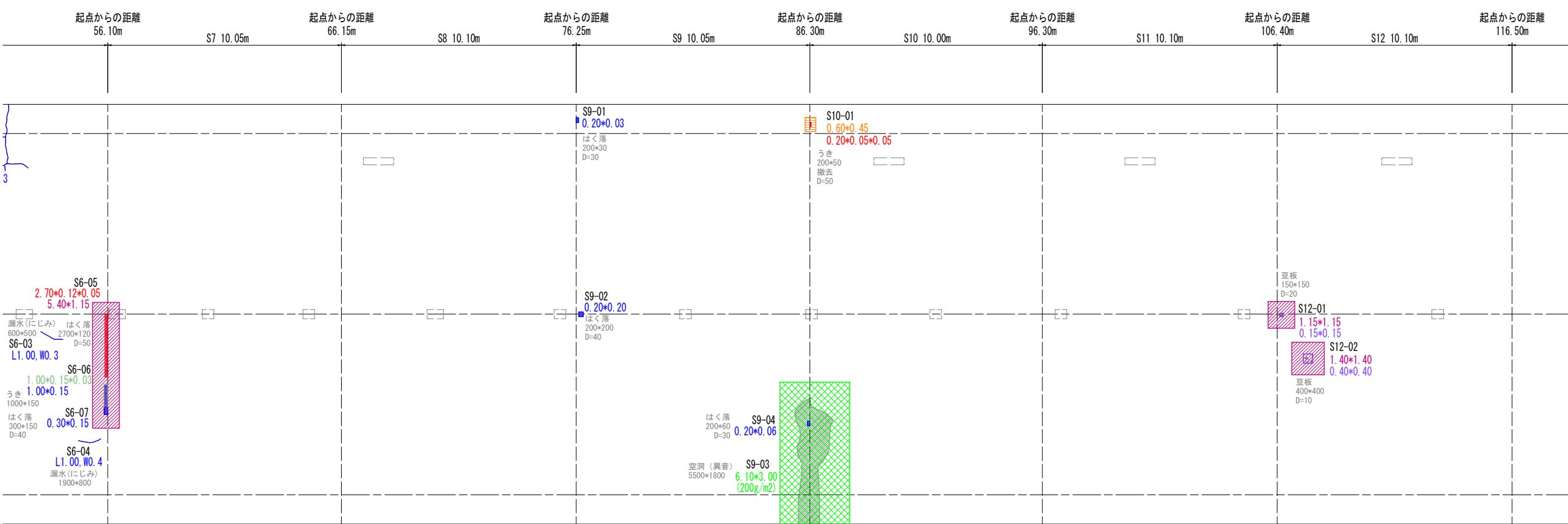
「道路トンネル定期点検要領(自治体用)H31.2」

- 注1) FRPメッシュは、変状箇所を包括し、四方に最低50cm以上の設置余裕しろを確保する。
なお目地を跨ぐ場合も同様である。固定用コンクリートアンカーはM6*70を標準とするが、損傷箇所や断面修復箇所に設置する場合は、健全な覆工に定着できるアンカー長とすること。
- 注2) ビニロンメッシュは、変状箇所を包括し、四方に最低20cm以上の設置余裕しろを確保する。
なお目地を跨ぐ場合も同様である。固定用コンクリートアンカーはφ8*70を標準とするが、損傷箇所や断面修復箇所に設置する場合は、健全な覆工に定着できるアンカー長とすること。
- 注3) 炭素繊維シートは、覆工巻厚(35cm)+20cm(最低55cm以上)の定着長を確保すること。
目地を跨ぐ場合は、目地部で20cm程度以上の自由長を確保する。
- 注4) ”にじみ”程度の漏水対策は、ひび割れ注入工による止水を選定しているが、漏水量が多い場合や止水することにより別の場所から新たな漏水が発生するような場合は、清切型導水工や導水樋工に変更する。
- 注5) 漏水箇所において遊離石灰が発生している場合は、ケレンによるハツリ落としを行った後、所定の対策工を施すこと。
- 注6) はつり落とし時に鉄筋が露出した場合は、はつり落とし深さに関わらず鉄筋の錆を確実に除去し、エポキシ樹脂塗装等の防錆処理を行う。
- 注7) はつり落とし深さが5cm以上となる場合は、断面修復工を行い、ネット工を施すこと。(アーチ部：FRP、側壁部：ビニロンメッシュ)

実施設計図面

工事名	R3阿土 阿南小松島線(加茂谷トンネル) 阿南・加茂 トンネル修繕工事		
路線名等	阿南小松島線(加茂谷トンネル)		
工事箇所	阿南市加茂町不け		
図面名	対策工展開図 (1/4)		
縮 尺	1:100	図面番号	1 / 5
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局県土整備部(阿南)		

施工延長 L=228.40m



スパン番号		S07	S08	S09	S10	S11	S12
点検結果	ひび割れ密度 (cm/m2)	11.19	12.08	9.81	6.45	6.03	15.92
	外力による変状	I	I	I	I	I	I
	材質劣化による変状	I	I	III	II	I	II
	漏水等による変状	I	I	I	I	I	I
	覆工スパン毎の診断	I	I	III	II	I	II
非破壊検査結果	有効巻厚による判定	II	II	II	II	II	II
	突発性崩壊による判定	I	I	I	I	I	I
	覆工スパン毎の診断	II	II	II	II	II	II

スパン番号				S07	S08	S09	S10	S11	S12
はく落対策		はつり落とし工	m3						
		劣化防止コーティング (エポキシ樹脂系)	m2			0.058			
		断面修復工 (ポリマーセメント)	m3				0.0005		
		炭素繊維シート接着工 (2方向1層 200g/m2 or 300g/m2)	m2			18.30			
		ネット工 (FRPメッシュ)	m2						3.28
		ネット工 (ビニロンメッシュ)	m2				0.27		
材質劣化対策		表面含浸工 (けい酸ナトリウム系)	m2						0.183
漏水対策		導水樋工 (160型)	m						
		流末排水工 (PU-I-B150-H150)	m						
		ひび割れ注入工 (超微粒子無機系)	m						

※展開図内の寸法は、
面積：横断方向(m) * 縦断方向(m)
体積：横断方向(m) * 縦断方向(m) * 厚み(m)
延長：長さ(m)、(幅(mm))

健全度判定区分		
区 分		状 態
I	健全	道路トンネルの機能に支障が生じていない状態。
II	予防保全段階	道路トンネルの機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III	早期措置段階	道路トンネルの機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV	緊急措置段階	道路トンネルの機能に支障が生じている。又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

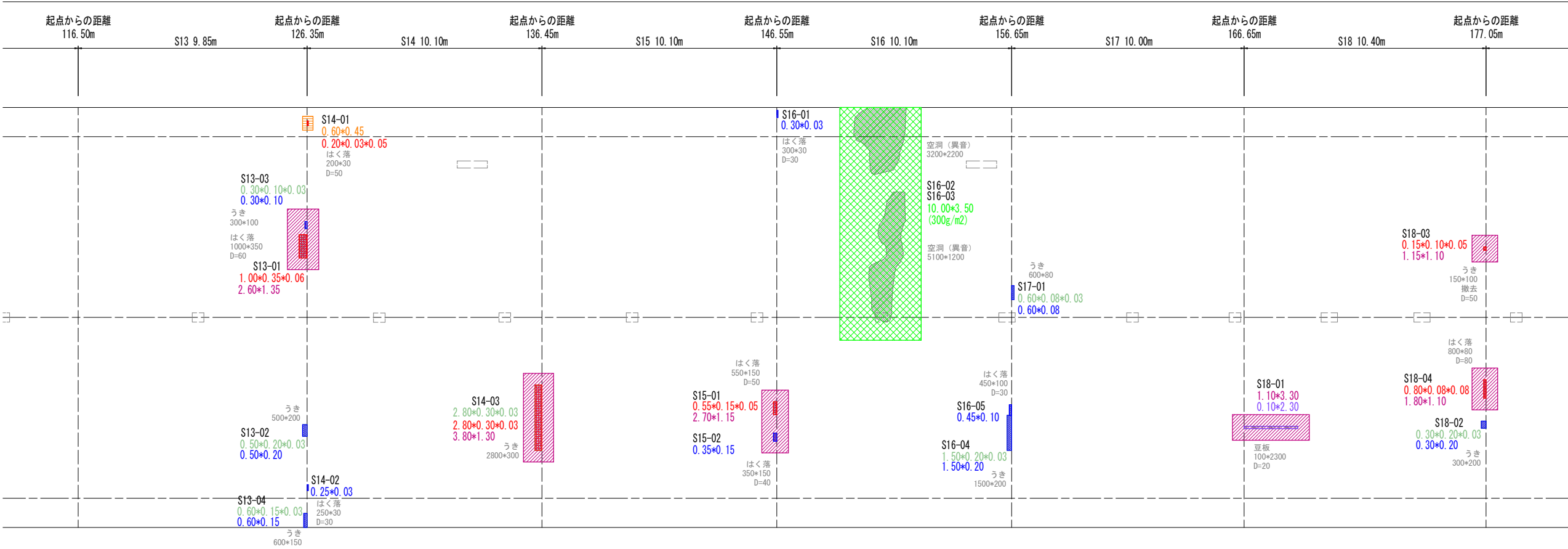
「道路トンネル定期点検要領(自治体用)H31.2」

- 注1) FRPメッシュは、変状箇所を包括し、四方に最低50cm以上の設置余裕しろを確保する。
なお目地を跨ぐ場合も同様である。固定用コンクリートアンカーはM6*70を標準とするが、損傷箇所や断面修復箇所に設置する場合は、健全な覆工に定着できるアンカー長とすること。
- 注2) ビニロンメッシュは、変状箇所を包括し、四方に最低20cm以上の設置余裕しろを確保する。
なお目地を跨ぐ場合も同様である。固定用コンクリートアンカーはφ8*70を標準とするが、損傷箇所や断面修復箇所に設置する場合は、健全な覆工に定着できるアンカー長とすること。
- 注3) 炭素繊維シートは、覆工巻厚(35cm)+20cm(最低55cm以上)の定着長を確保すること。
目地を跨ぐ場合は、目地部で20cm程度以上の自由長を確保する。
- 注4) ”にじみ”程度の漏水対策は、ひび割れ注入工による止水を選定しているが、漏水量が多い場合や止水することにより別の場所から新たな漏水が発生するような場合は、清切型導水工や導水樋工に変更する。
- 注5) 漏水箇所において遊離石灰が発生している場合は、ケレンによるハツリ落としを行った後、所定の対策工を施すこと。
- 注6) はつり落とし時に鉄筋が露出した場合は、はつり落とし深さに関わらず鉄筋の錆を確実に除去し、エポキシ樹脂塗装等の防錆処理を行う。
- 注7) はつり落とし深さが5cm以上となる場合は、断面修復工を行い、ネット工を施すこと。(アーチ部：FRP、側壁部：ビニロンメッシュ)

実施設計図面

工事名	R3阿土 阿南小松島線(加茂谷トンネル) 阿南・加茂 トンネル修繕工事		
路線名等	阿南小松島線(加茂谷トンネル)		
工事箇所	阿南市加茂町不け		
図面名	対策工展開図 (2/4)		
縮 尺	1:100	図面番号	2 / 5
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局県土整備部(阿南)		

施工延長 L=228.40m



スパン番号		S13	S14	S15	S16	S17	S18
点検結果	ひび割れ密度 (cm/m2)	11.18	2.72	0.00	8.39	5.97	2.44
	外力による変状	I	I	I	I	I	I
	材質劣化による変状	II	II	II	III	II	II
	漏水等による変状	I	I	I	I	I	I
	覆工スパン毎の診断	II	II	II	III	II	II
非破壊検査結果	有効巻厚による判定	I	II	II	III	II	II
	突発性崩壊による判定	I	I	I	I	I	I
	覆工スパン毎の診断	I	II	II	III	II	II

スパン番号				S13	S14	S15	S16	S17	S18
はく落対策		はつり落とし工	m3	0.0066	0.0252		0.0090	0.0015	0.0018
		劣化防止コーティング (エポキシ樹脂系)	m2	0.220	0.008	0.053	0.354	0.048	0.060
		断面修復工 (ポリマーセメント)	m3	0.0210	0.0255	0.0042			0.0059
		炭素繊維シート接着工 (2方向1層 200g/m2 or 300g/m2)	m2				35.00		
		ネット工 (FRPメッシュ)	m2	3.51	4.94	3.11			6.88
		ネット工 (ビニロンメッシュ)	m2		0.27				
材質劣化対策		表面含浸工 (けい酸ナトリウム系)	m2						0.230
漏水対策		導水樋工 (160型)	m						
		流末排水工 (PU-1-B150-H150)	m						
		ひび割れ注入工 (超微粒子無機系)	m						

※展開図内の寸法は、
面積：横断方向(m) * 縦断方向(m)
体積：横断方向(m) * 縦断方向(m) * 厚み(m)
延長：長さ(m)、(幅(mm))

健全度判定区分		
区 分		状 態
I	健全	道路トンネルの機能に支障が生じていない状態。
II	予防保全段階	道路トンネルの機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III	早期措置段階	道路トンネルの機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV	緊急措置段階	道路トンネルの機能に支障が生じている。又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

「道路トンネル定期点検要領(自治体用)H31.2」

- 注1) FRPメッシュは、変状箇所を包括し、四方に最低50cm以上の設置余裕しろを確保する。
なお目地を跨ぐ場合も同様である。固定用コンクリートアンカーはM6*70を標準とするが、損傷箇所や断面修復箇所に設置する場合は、健全な覆工に定着できるアンカー長とすること。
- 注2) ビニロンメッシュは、変状箇所を包括し、四方に最低20cm以上の設置余裕しろを確保する。
なお目地を跨ぐ場合も同様である。固定用コンクリートアンカーはφ8*70を標準とするが、損傷箇所や断面修復箇所に設置する場合は、健全な覆工に定着できるアンカー長とすること。
- 注3) 炭素繊維シートは、覆工巻厚(35cm)+20cm(最低55cm以上)の定着長を確保すること。
目地を跨ぐ場合は、目地部で20cm程度以上の自由長を確保する。
- 注4) ”にじみ”程度の漏水対策は、ひび割れ注入工による止水を選定しているが、漏水量が多い場合や止水することにより別の場所から新たな漏水が発生するような場合は、溝切型導水工や導水樋工に変更する。
- 注5) 漏水箇所において遊離石灰が発生している場合は、ケレンによるハツリ落としを行った後、所定の対策工を施すこと。
- 注6) はつり落とし時に鉄筋が露出した場合は、はつり落とし深さに関わらず鉄筋の錆を確実に除去し、エポキシ樹脂塗装等の防錆処理を行う。
- 注7) はつり落とし深さが5cm以上となる場合は、断面修復工を行い、ネット工を施すこと。(アーチ部：FRP、側壁部：ビニロンメッシュ)

実施設計図面

工事名	R3阿南・阿南小松島線(加茂谷トンネル)阿南・加茂トンネル修繕工事		
路線名等	阿南小松島線(加茂谷トンネル)		
工事箇所	阿南市加茂町不け		
図面名	対策工展開図 (3/4)		
縮 尺	1:100	図面番号	3 / 5
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局県土整備部(阿南)		

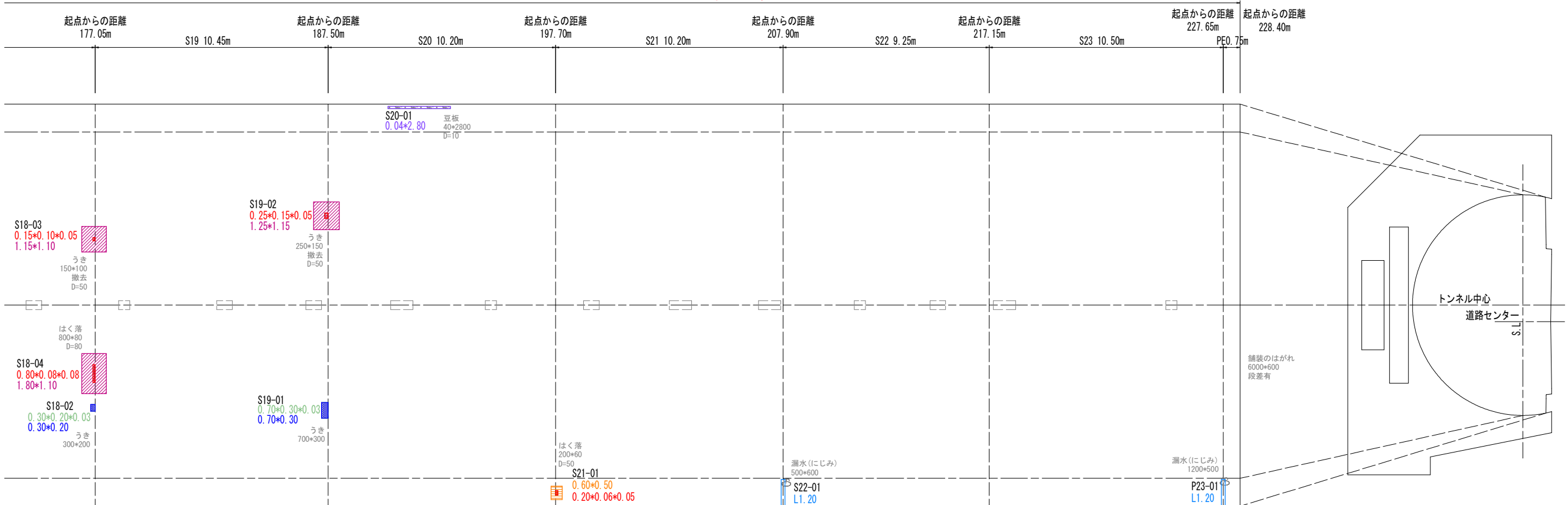
至 那賀郡

対策工展開図 (4/4)

S=1:100

至 小松島市

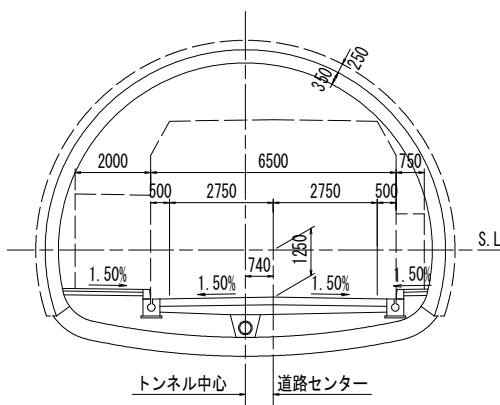
施工延長 L=228.40m



スパン番号		S19	S20	S21	S22	S23	PE (坑口含む)
点検結果	ひび割れ密度 (cm/m2)	4.89	5.07	3.79	0.00	0.00	0.00
	外力による変状	I	I	I	I	I	I
	材質劣化による変状	II	II	II	I	I	II
	漏水等による変状	I	I	I	II	II	I
	覆工スパン毎の診断	II	II	II	II	II	II
余剰箇所調査結果	有効巻厚による判定	II	II	II	II	I	I
	突発性崩壊による判定	I	I	I	I	I	I
	覆工スパン毎の診断	II	II	II	II	I	I

スパン番号				S19	S20	S21	S22	S23	PE (坑口含む)
はく落対策		はつり落とし工	m3	0.0063					
		劣化防止コーティング (エポキシ樹脂系)	m2	0.210					
		断面修復工 (ポリマーセメント)	m3	0.0019		0.0006			
		炭素繊維シート接着工 (2方向1層 200g/m2 or 300g/m2)	m2						
		ネット工 (FRPメッシュ)	m2	1.44					
		ネット工 (ビロンメッシュ)	m2			0.30			
材質劣化対策		表面含浸工 (けい酸ナトリウム系)	m2		0.112				
		導水樋工 (160型)	m				1.20	1.20	
漏水対策		流末排水工 (PU-1-B150-H150)	m						
		ひび割れ注入工 (超微粒子無機系)	m						

標準断面図 S=1:100



※展開図内の寸法は、
面積：横断方向(m) * 縦断方向(m)
体積：横断方向(m) * 縦断方向(m) * 厚み(m)
延長：長さ(m)、(幅(mm))

健全度判定区分

区分		状態
I	健全	道路トンネルの機能に支障が生じていない状態。
II	予防保全段階	道路トンネルの機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III	早期措置段階	道路トンネルの機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV	緊急措置段階	道路トンネルの機能に支障が生じている。又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

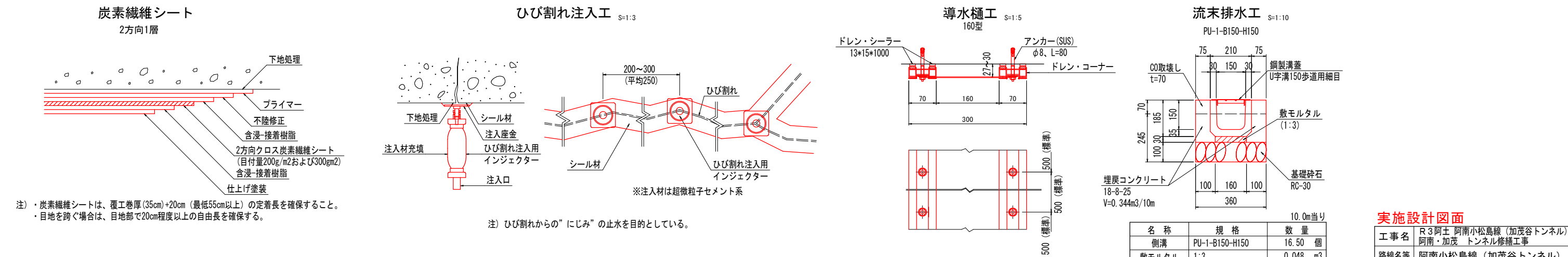
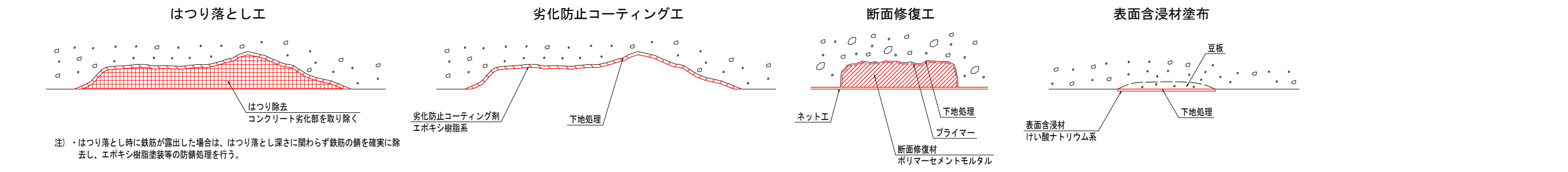
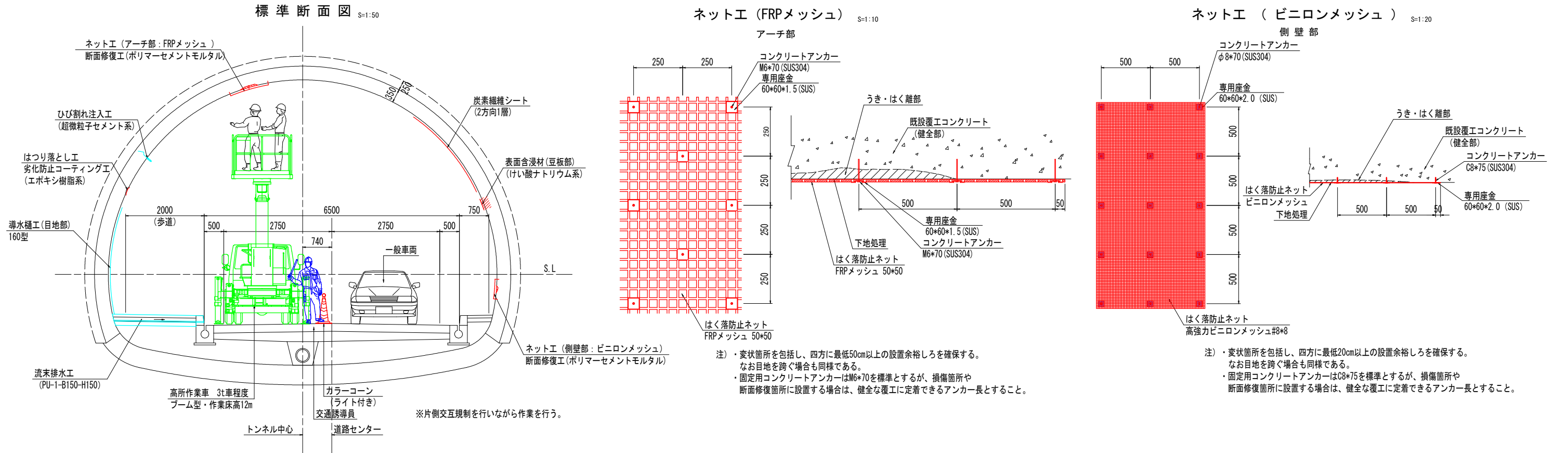
「道路トンネル定期点検要領(自治体用)H31.2」

- 注1) FRPメッシュは、変状箇所を包括し、四方に最低50cm以上の設置余裕しろを確保する。
なお目地を跨ぐ場合も同様である。固定用コンクリートアンカーはM6*70を標準とするが、損傷箇所や断面修復箇所に設置する場合は、健全な覆工に定着できるアンカー長とすること。
- 注2) ビロンメッシュは、変状箇所を包括し、四方に最低20cm以上の設置余裕しろを確保する。
なお目地を跨ぐ場合も同様である。固定用コンクリートアンカーはφ8*70を標準とするが、損傷箇所や断面修復箇所に設置する場合は、健全な覆工に定着できるアンカー長とすること。
- 注3) 炭素繊維シートは、覆工巻厚(35cm)+20cm(最低55cm以上)の定着長を確保すること。
目地を跨ぐ場合は、目地部で20cm程度以上の自由長を確保する。
- 注4) "にじみ"程度の漏水対策は、ひび割れ注入工による止水を選定しているが、漏水量が多い場合や止水することにより別の場所から新たな漏水が発生するような場合は、清切型導水工や導水樋工に変更する。
- 注5) 漏水箇所において遊離石灰が発生している場合は、ケレンによるハツリ落としを行った後、所定の対策工を施すこと。
- 注6) はつり落とし時に鉄筋が露出した場合は、はつり落とし深さに関わらず鉄筋の錆を確実に除去し、エポキシ樹脂塗装等の防錆処理を行う。
- 注7) はつり落とし深さが5cm以上となる場合は、断面修復工を行い、ネット工を施すこと。(アーチ部：FRP、側壁部：ビロンメッシュ)

実施設計図面

工事名	R3阿土 阿南小松島線(加茂谷トンネル) 阿南・加茂 トンネル修繕工事		
路線名等	阿南小松島線(加茂谷トンネル)		
工事箇所	阿南市加茂町不け		
図面名	対策工展開図 (4/4)		
縮尺	1:100	図面番号	4 / 5
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局県土整備部(阿南)		

対策工詳細図



実施設計図面			
工事名	R3阿土 阿南小松島線（加茂谷トンネル） 阿南・加茂 トンネル修繕工事		
路線名等	阿南小松島線（加茂谷トンネル）		
工事箇所	阿南市加茂町不け		
図面名	対策工詳細図		
縮 尺	図 示	図面番号	5 / 5
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局県土整備部（阿南）		